



2 つ目のノードを追加する場合のみ使用してください。初期の展開を行う場合は『ztC Edge 200i/250i システム: 単一ノードシステムを展開する』を参照してください。

ユーザが提供するコンポーネント



node0 で既に静的な IP アドレスを使用している場合、ネットワーク管理者に連絡して node1 に静的な IP アドレスを割り当ててください。そうでない場合は DHCP で自動的に割り当てられます。その他のネットワーク設定は、参照用に必要となる場合のみ入力します。

システムの IP アドレス (静的アドレスが必要) _____ . _____ . _____ . _____

node0 IP アドレス _____ . _____ . _____ . _____

(新しい) node1 IP アドレス _____ . _____ . _____ . _____

ゲートウェイアドレス _____ . _____ . _____ . _____

ネットワーク マスク _____ . _____ . _____ . _____

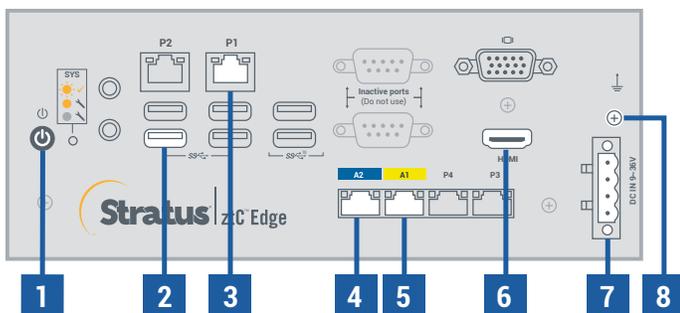
DNS サーバ _____ . _____ . _____ . _____

_____ . _____ . _____ . _____

(システムおよびノードの IP アドレスは同じサブネット上になければなりません。)

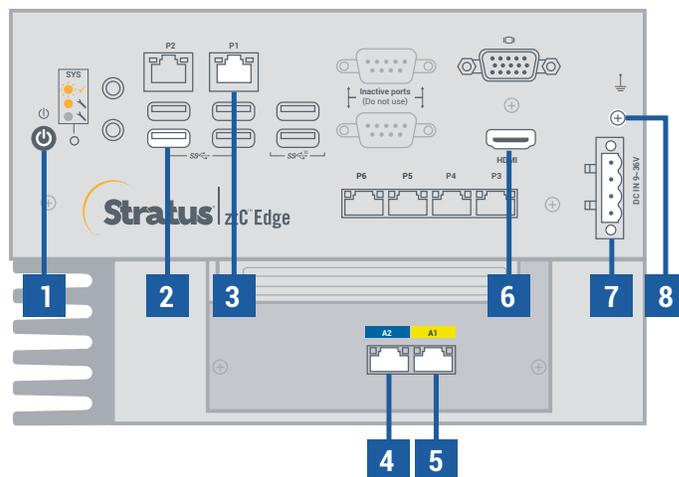
システムの概要

ztC Edge 200i システム



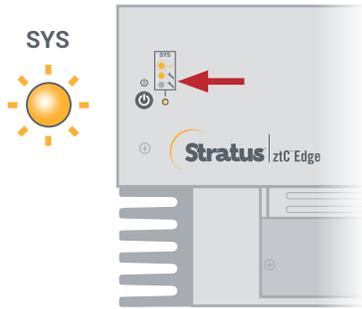
- 1. 電源ボタン
- 2. USB ポート (キーボード)
- 3. P1 ポート (LAN)
- 4. A2 ポート (青いネットワーク)
- 5. A1 ポート (黄色いネットワーク)
- 6. HDMI ポート (モニター)
- 7. 電源コネクタ
- 8. シグナル グランド コネクタ

ztC Edge 250i システム

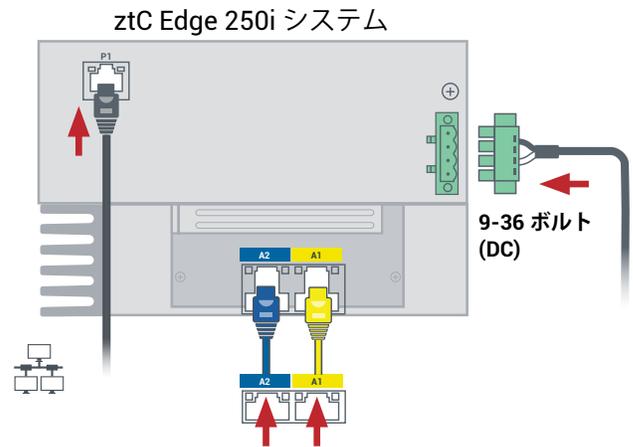
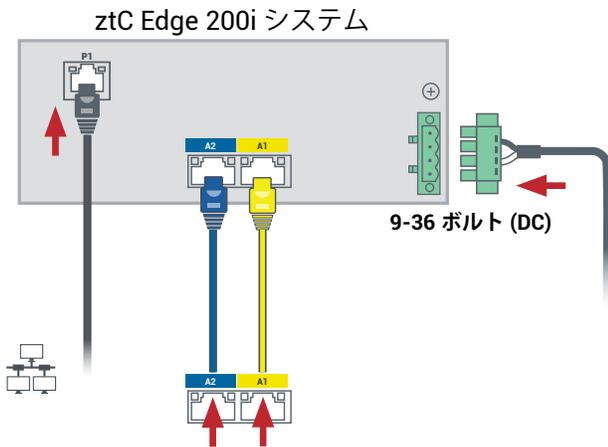


ztC Edge のリリース ノートとマニュアルについては、<http://ztcedgedoc.stratus.com> にアクセスしてください。ナレッジ ベース記事やソフトウェア ダウンロードを含むその他の ztC Edge 自己解決用リソースについては、Stratus カスタマ サービス サイト (<http://www.stratus.com/support>) にアクセスしてください。

1 最初のノードが実行されていて正常である (SYS LED が点滅している) ことを確認します。最初のノードにネットワーク接続している PC またはラップトップで ztC Edge コンソールに接続し、**[ダッシュボード]** ページに緑のチェック マークが表示されていて未解決の問題がないことを確認します。(注: ステップ 6 でノードが同期され VM を再起動するまでは VM のパフォーマンスが低下するため、計画されているメンテナンス期間まで待ってから手順を行うことを検討してください。)



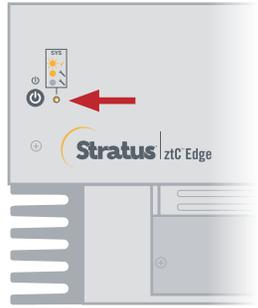
2 ノードの P1 ポートを既存の LAN (最初のノード上の P1 と同じサブネット) に接続し、青色と黄色のネットワーク ケーブルで最初のノードと 2 つ目のノード (A2 と A1 ポート) を接続します。2 つ目のノードに電源を接続し、電源がオンになることを確認します。



3 最初のノードに接続している ztC Edge コンソールで、**[基本設定]** を開いて **[可用性]** をクリックし、**[+]** (プラス記号) をクリックして 2 つ目のノードを追加します。ノードの追加ウィザードを完了し、ノードをペアリングしてシステムを冗長化します。



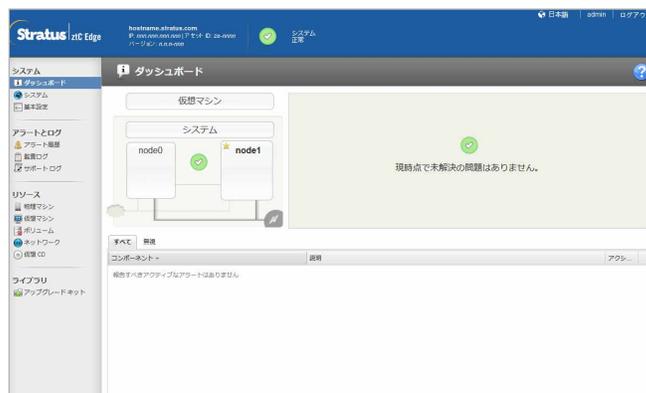
4 ペアリングの完了には最大で 30 分かかります。その後、2 つ目のノードの SYS LED が点滅して正常な状態であることが示され、ノードの追加ウィザードの各タブに緑色のチェックマークが表示されてペアリングが成功したことを確認できます。



5 ztC Edge コンソールで **[基本設定]** ページを開き、**[IP 構成]** をクリックして設定を確認します。必要に応じて、2 番目のノード (**node1**) の静的 IP アドレスを入力し、**[保存]** をクリックします。



6 既存の VM は数時間同期する可能性があります。その後、VM を再起動して冗長性を有効化し、警告を解除する必要があります。ztC Edge 250i システムのみ: VM がダウンしているときは、オンライン ヘルプの説明に従って各 VM の HA/FT 設定を更新することを検討してください。システムが同期され、VM が実行されている場合、未解決の問題がないことを示す緑のチェックマークが **[ダッシュボード]** に表示されます。

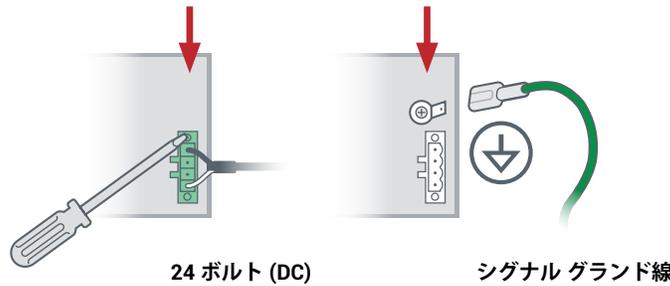


推奨事項

システムを使用する前に、最新のソフトウェアを実行していることを確認してください。
リリースノートで詳細を参照し、ソフトウェアを
<https://www.stratus.com/services-support/downloads> からダウンロードします。

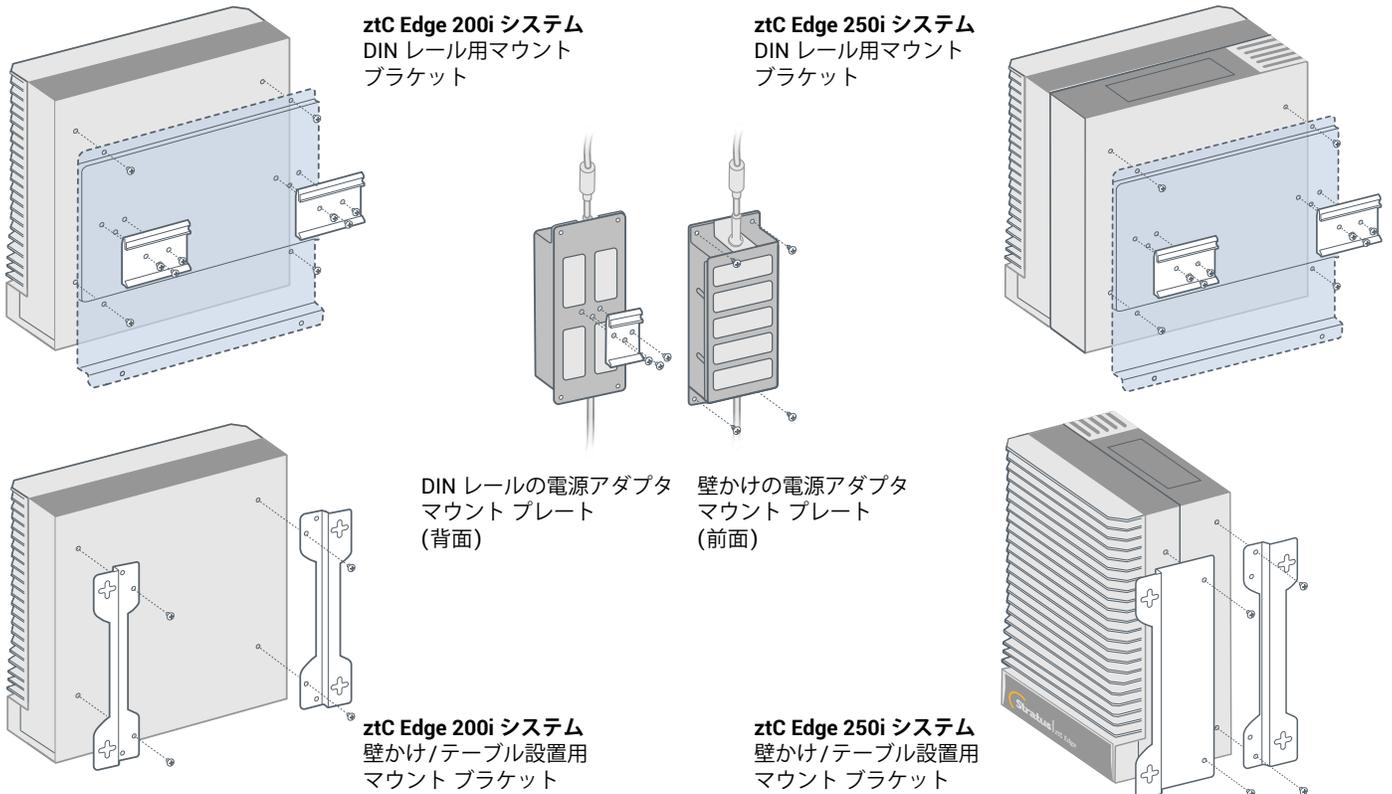
オプション

1/8 インチ マイナス ドライバを使って電源コネクタの拘束ねじを締めます。ユーザが提供するシグナル グランド線を取り付けます。



オプション

No. 2 プラス ドライバを使って DIN レール用または壁かけ/テーブル用マウントをノードに取り付けます。ノードを DIN レールまたは壁に設置する場合は、ポートが下向きになるように取り付けます。



パーツ番号: R018Z-00 | 発行日: 2021 年 8 月

リリース番号: Stratus Redundant Linux リリース 2.3.0.0

仕様と説明は概要であり、通知なしに変更される場合があります。

Stratus および Stratus ロゴは Stratus Technologies Ireland, Ltd. の登録商標です。Stratus Technologies ロゴ、Stratus 24x7 ロゴ、および ztC は Stratus Technologies Ireland, Ltd. の商標です。

その他すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

©2021 Stratus Technologies Ireland, Ltd. All rights reserved.